



●生育は回復傾向ですが、葉色が濃い状態にあります！

ポイント → 目標茎数 (440 本/m²) を確保したら、作溝・中干しを！

本年は、5月下旬の低温に加え、5月末から6月中頃まで降雨がなかったことから田のワキ現象が進み、生育は抑制的に経過しました。その後、6月16日の雨で田のワキはやや落ち着いてきており、全体的に生育は回復傾向にあり、目標茎数を確保しつつあります。

まだワキが強く葉色が薄い場合はワキ対策（田干しなど）を、目標茎数を確保している場合は適期の作溝・中干しを行うなど、ほ場の状況をよく観察して適期に適切な対応をしましょう。

全般に葉色が濃い状態になっています。隣のほ場と比べて葉色が薄いからといって、安易なつなぎ肥はせず、正しく診断して対応しましょう。

●生育

6/21 の調査では、草丈は指標に比べ長く、茎数が指標の8割、葉数が指標に比べ-0.3枚となっています。

茎数・葉数とも、前回調査 (6/10) より回復傾向にあります。

ただし、葉色は、指標に比べ濃い状況にあります。

6月21日の「つや姫」の生育

	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	備考
特別栽培 (鶴岡市上清水)	本年	39.3	366	7.9	44.9	
	前年	29.3	297	7.5	39.9	
	指標	35	460	8.3	39	
	指標比	112	80	-0.4	+5.9	
特別栽培 5ヶ所の平均	本年	38.8	364	8.0	44.2	鶴岡市上清水・小京田・庄内町余目新田・宮曾根・肝煎
	指標	35	460	8.3	39	
	指標比	111	79	-0.3	+5.2	
有機栽培	本年	35.8	336	8.2	43.5	三川町押切新田

● 目標茎数を確保したら作溝・中干しを！

全体的に生育は遅れていますが、もう少しで目標茎数を確保できます。

しかし、草丈も長くなり、葉色も濃いことから、目標茎数 440 本/m² (18~24 本/株) を確保したら、速やかに作溝・中干しに切り替えましょう。

目標茎数

m ² 当り440本		
植込み株数	80株	18本/株
	70株	21本/株
	60株	24本/株

状況に対応した茎数コントロールを行いましょ！

地力並・生育並	6/25～7/5 頃まで、小ひびが入る程度に中干しを行いましょ。
地力高い・生育過多 (復元田)	目標茎数に達したら、遅れずに中干しをはじめましょ！ やや強めの中干し(7/10 頃まで大きなヒビが入らない程度の落水状態)が効果的です。
地力低い・生育過多 (砂質土壤)	6/25～7/5 頃まで、小ひびが入る程度に中干しを行いましょ。
目標茎数に足りない	引き続き浅水管理 で有効茎を確保し、 有効茎が決定する6月末頃から 中干しを開始しましょ。 なお、ワキが強いほ場は早急に田干しなどの対策を行ってから分げつを促進する水管理を。

気を引き締め、農作業事故を無くそう！ 緊急広報活動も実施中

農薬は使用基準を守って、適正使用！

農薬の使用は、使用基準を必ず守り、使用記録を記帳しよう。